

少年による太刀・なぎなたなどを用いる踊り

太刀踊(御霊社)



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	たちおどり(ごりょうしゃ)
所在地	瀬戸内市牛窓町綾浦(御霊社)
指定年月日	昭和35年8月23日
解説	綾浦地区の御霊社の秋祭り(10月第4日曜日)に奉納される踊り。12~3才の5人の少年で組織され2人が男装、2人が女装、1人が太鼓打ちとなり、囃子とかけ声に合わせて太刀・なぎなたなどを用いて踊る。
アクセス方法	西大寺バスセンターから牛窓線乗車「綾浦」下車
公開状況	開催日:10月の第4日曜日「牛窓秋祭り」
設備	
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	太刀踊(御霊社)
よみかた	たちおどり(ごりょうしゃ)
しょざいち (所在地)	瀬戸内市牛窓町綾浦(御霊社)
していたひ (指定した日)	昭和35年8月23日
せつめい	牛窓(うしまど)の秋祭り(あきまつり)のときに御霊社(ごりょうしゃ)の神さまに捧(ささ)げる踊(おど)りです。12才くらいまでの少年が、お囃子(はやし)にあわせて太刀(たち)、なぎなたなどを使って踊ります。